

平成28年度（平成27年度事業分）

教育委員会の権限に属する事務の
管理及び執行の状況にかかる点検
及び評価に関する報告書

平成28年9月

島原市教育委員会

も く じ

1 はじめに	1
(1) 趣旨	
(2) 点検及び評価の対象	
(3) 点検及び評価の方法	
2 学識経験者の所見	2～4
3 点検・評価結果	
(1) 教育委員会の活動状況	5～7
・教育委員会会議の運営・情報発信	
・教育委員会と事務局との連携	
・教育委員会と市長との連携	
・学校等教育機関に対する支援及び連携	
・教育委員の自己研鑽	
(2) 教育委員会が管理・執行する事務	8～10
・学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること	
・学校その他教育機関の設置及び廃止の決定並びに敷地の選定・変更に関すること	
・県費負担教職員の任免その他進退にかかる内申に関すること	
・県費負担教職員のサービスの監督に関すること	
・教育委員会の任命にかかる職員の任免その他進退に関すること	
・委員会規則の制定又は改廃を行うこと	
・教育委員会の所管に属する委員等の任命又は委嘱に関すること	
・教育関係職員の研修の一般方針を定めること	
・教科用図書の採択に関すること	
・学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること	
・教育予算その他議会の議決を経るべき議案の作成について意見を申し出ること	
・学校その他教育機関の工事の計画を策定すること	
・教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うこと	
(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	11～27
・学校教育に関すること	
・社会教育に関すること	
・スポーツ推進に関すること	
・教育環境に関すること	

1 はじめに

(1)趣 旨

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、毎年、教育に関して学識経験者の知見の活用を図り、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出・公表することとなっています。

島原市教育委員会では、市民に信頼される教育行政の推進を図るとともに課題や取組の方向性を明らかにすることにより、市民の皆様への説明責任を果たし、効果的な教育行政の一層の推進を図っていくため、教育委員会活動の点検及び評価を実施し報告書にまとめました。

また、点検及び評価を行うに当たり3人の学識経験者の所見をそれぞれいただいています。

(2)点検及び評価の対象

点検及び評価については、平成27年度における「教育委員会の活動状況」「教育委員会が管理・執行する事務」「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」の3項目に分けて行っています。

(3)点検及び評価の方法

点検及び評価にあたっては、施策・事業の実施状況を明らかにするとともに、今後における課題と対応策について検討しています。

平成28年9月

島原市教育委員会

2 学識経験者の所見

○ 所見 1

<評価できる点>

- 1 法律の改正により、新しく本市総合教育会議を開催し、本市教育行政の指針となる教育大綱を、さっそく策定され、市長と教育委員会の意見交換や協議が行われたことは評価できる。
- 2 本市教育行政が、策定されている「島原市教育振興基本計画」(平成24～28年度)に基づき、実態に応じ、先を見通しながら着実に推進しようとする姿勢は評価できる。
- 3 時間設定が厳しい中、学校への訪問が全小・中学校を対象に実施されている。児童生徒や教職員、施設設備の実態、学校の課題等を把握する上でも、教職員の指導力向上の面でも、市教育方針を徹底、浸透させる上でも意義あるもので評価できる。
- 4 財政事情が厳しい折、小・中学校の校舎・体育館の耐震化工事を計画的に推進され計画通りに平成27年度までに完了されたことは評価できる。
- 5 学力向上対策の一環としての市独自の学力調査や学力調査結果分析研修会、中学校学力向上研修会、学力先進地の視察等は評価できる。点数競争にならないような配慮と調査結果分析を不断の指導におおいに生かして欲しい。
- 6 読書活動の推進に関しては、学校司書等との連携が実を結び、この3年間で飛躍的に図書貸出冊数が増加している等はおおいに評価できる。
- 7 放課後の子ども学習室、スクールキッズ等の実施は、放課後の子どもの居場所づくり及び自学の習慣化の意味で評価できる。多くの活用者が出るよう保護者、児童生徒への更なるPRをお願いしたい。
- 8 子育て支援充実の一環として「しまばら家庭教育三・三・七拍子！」が作成され、配布されたことは、生徒指導や学習習慣の定着、学力向上の面からも評価できる。機会あるごとにPRや活用をして欲しい。
- 9 島原城跡が県史跡に指定されたここまでの努力に感謝申し上げたい。

<改善を要する点(要望)>

- 1 現行の「島原市教育振興基本計画」が平成28年度までとなっている。来年度からの第2期「島原市教育振興基本計画」を策定中とは思いますが、今年までの5年間の総括を生かすとともに、国の新しい動きに合わせて5年、10年先を見据えた島原ならではの計画、実施をお願いしたい。
- 2 学力の向上や健やかな児童生徒の育成には、何といても教師一人一人の資質や指導力の向上は欠かせない。研修講座の受講や、校内研修等による研究授業の実施など教師自らの研鑽と市教育委員会の一層の指導、激励をお願いしたい。
- 3 市PTA連合会でも携帯電話やスマートフォン問題の解決への動きがあるようですが、この機運を大事にされて、学校、家庭、地域社会、関係機関、市教育委員会等が一体になって少しでもトラブルが防止できるようお願いしたい。

平成28年8月18日
宮崎 和夫

○ 所見 2

<評価できる点>

- 1 小・中学校の校舎・体育館などの建物躯体耐震化及び、体育館の非構造部材落下防止対策工事に関して 100%完了していることは、大変評価できる。
- 2 日本体育大学との協定による派遣事業、交流事業は素晴らしいことであり、今後の事業にも期待させられる。
- 3 教育委員会が事務局と連携し教育課題に係る共通認識を持ち、必要な事項に対して市長と随時、協議を行っていることを評価する。
- 4 道徳教育・人権学習・平和学習等、心の教育の充実を評価する。
- 5 職場体験学習・福祉体験学習等、地域の教育力を生かした体験学習の推進を評価する。
- 6 島原市民としての「いのりの日」の取組、ジオパーク学習そして、防災学習の充実を評価する。
- 7 スクールキッズ・放課後子ども学習室の開設を評価する。
- 8 「しまばら家庭教育三・三・七拍子！」の周知・浸透を期待する。

<改善を要する点（要望）>

- 1 教育委員会会議を傍聴者に配慮して開催するなら、一部だけでもケーブルテレビで放映することはできないか。
- 2 学力向上を目指した学校教育の充実を図られているようだが、結果が伴っていない様に見受けられる。また、個別に支援が必要な児童生徒に対する指導に関しては、教師・学習支援員の増員等が必要ではないだろうか。
- 3 P T A・地域行事・部活動に熱心に取り組んでくれる臨時採用の教職員が、本採用されるよう保護者から、嘆願書・推薦書等を提出できる制度を作ってほしい。

平成 2 8 年 8 月 1 8 日

酒井 寛明

○ 所見 3

<評価できる点>

- 1 教育委員会の活動が、項目ごとに細かく点検・評価されていることがよくわかる。
- 2 島原市の教育上の諸問題や懸案事項について、教育委員会と市長が意見交換や協議を行うなど、連携が図られている。
- 3 心の教育の充実のために、生命（いのち）をテーマとした道徳の学習やゲストティーチャーを活用した人権学習が行われているが、子どもたちの教育において「心の教育」が最も重要であると思うので、今後一層重点を置いた取組を期待したい。
- 4 学校と家庭と福祉をつなぐ「スクールソーシャルワーカー」を配置されていることはすばらしいことだと思う。今後一層の活躍を期待したい。
- 5 問題データベースシステムを導入されたり、全国・県学力調査の該当以外の学年に学力調査を実施されるなど、学力向上対策がたいへん充実している。
- 6 小・中学校の校種間連携について、中学校区内の小学校と中学校が相互に授業を公開し、中学校の教諭が小学校に出向き助言を行うことは、とても意義ある活動だと思う。もっとたくさんの教科でもこのような取組がなされると、小学校から中学校へのスムーズな学習の流れができ、双方の学力向上にもつながると思う。

- 7 国際交流活動やA L Tの活動など、すばらしいと思う。グローバル社会への対応や島原市の国際化のためにも、より力を入れた活動を期待したい。多くの子どもたちに国際化の意識を高めるために、外国への子どもの派遣だけでなく、地元島原市でも国際交流の場を作ってほしい。
- 8 学習支援員を全小中学校に配置され、支援が必要な子どもたちへの指導に生かされていることは、先生方にとっても保護者にとってもありがたいことだと思う。
- 9 島原市ココロねっこ運動の推進にあたっては、子育て支援の充実のため、「しまばら家庭教育三・三・七拍子」を作成され、学校をはじめ、多くの団体や関係機関に周知・啓発されている。島原市民全員で子どもを育てていくという意識も高まり、とてもいい活動だと思う。
- 10 島原市P T A連合会の統一ルールとして、「しまばらスマホルール」を策定しP T A会員に呼びかけをされていることは意義深いと思う。一方、近年のスマートフォン使用の拡大や低年齢化は著しく、それに伴う事件や犯罪、いじめ問題が県内でも発生している。島原市でそういう悲しい事件が決して起こらないよう、また心の教育との意味合いを込め、多くの子どもたち、保護者、教職員、地域住民に、メディア指導の充実を図ることが大切であると思う。くり返しの指導の必要性を感じる。
- 11 読書活動が活発になるよう、全小中学校に「学校司書」を配置し貸出冊数の増加に努められたり、公立図書館と連携し遠隔地の学校へ配本されたり、絵本作家の講演会を開催されるなど、たいへん充実している。
- 12 スポーツ推進が活発になされ、島原市の元気づくりにつながっている。今年度（平成28年）作られた「しまばら体操」も、幼児から高齢者まで、市民全員で取り組める体操になっており、島原市がますます元気な市になることを期待している。

<改善を要する点（要望）>

- 1 教職員の地域の中での活動や研修も必要であると思う。
- 2 いじめ防止の「子どもアンケート」は年に3回行われているようだが、子どもの心の変化はいつ起こるかわからないと思う。毎月実施する等きめ細かいいじめ防止の目を持つ方がよいのではないか。
- 3 全小・中学校区で学校支援会議が行われているようだが、学校からの活動状況の説明や学校と地域の情報交換に留まらず、学校・家庭・地域の課題を出し合い、問題解決に連携・協働して取り組むような学校支援会議になることを期待している。
- 4 地域人材を生かした教育活動が行われているようだが、島原市には、いろいろな技能や専門性を持つ多くの人材がいると思う。学校やP T Aと地域の方との交流活動、島原市の地域力の拡大のためにも、学校支援会議や公民館活動など、さらなる取組の充実を期待したい。
- 5 食育に力を入れられているが、他地域で見られる「親子で弁当をつくる日」や、島原の魚や野菜を使った授業をされても良いと思う。
- 6 婦人会や健全育成会、老人クラブ、青年団など、地域や学校のために温かい活動をたくさんされているが、市民の認知が低いと思う。このような方々の活動が市民全体に広く周知され、「自分たちの手で島原市をよくしていこう。元気な島原市を創っていこう。」など、一緒に活動してほしいと願っている。

平成28年8月18日
原 美和子

1 教育委員会の活動状況

大項目 教育委員会会議の運営・情報発信		
中項目	小項目	点検・評価
(1)教育委員会会議の開催回数等	①教育委員会会議の開催回数	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議は、原則として毎月初旬に定例会を、また必要に応じて臨時会を開催し、議案及び懸案事項などの審議を行っている。 平成27年度は、定例会を12回、臨時会を2回開催した。
	②教育委員会会議での審議状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第25条及び「島原市教育委員会の権限事務の一部を教育長に委任し又は臨時に代理させる規則」第2条の規定に基づき、平成27年度は、合計で55件の議案について審議を行った。 ・審議を要する事項は、所定の時期に取り上げた。 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 教育委員会規則等の制定及び改廃 21件 (イ) 教職員等の人事に関する事 3件 (ウ) 議会の議決を経るべき議案 3件 (エ) 条例等に定めのある附属機関等の委員やその他委員等の委嘱及び任命等 19件 (オ) 表彰に関する事 2件 (カ) 意見の申出に関する事 1件 (キ) 平成28年度使用島原市立中学校教科用図書採択 1件 (ク) 平成27年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況にかかる点検及び評価 1件 (ケ) 島原市いじめ防止基本方針 1件 (コ) 島原市通学路交通安全プログラム 1件 (サ) 学校施設環境改善交付金にかかる施設整備計画の事後評価 1件 (シ) 島原市文化財の新規指定（2文化財指定） 1件
	③教育委員会会議運営上の工夫等	<ul style="list-style-type: none"> ・議案等については、事前配付し、内容について周知することで委員会での審議の充実を図った。 ・各担当課による事業の実績・予定報告や付議案件の詳細説明などを行うとともに、今日的な教育課題などについて意見交換や協議を行い、今後の対応策等について共通理解を図った。
(2)教育委員会会議の傍聴者の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議の開催日時等については、市のホームページへの掲載と市政記者クラブへの情報提供を行い周知に努めた。

1 教育委員会の活動状況

中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・開催日時等の市のホームページへの掲載については、開催日時の早い時期に告知し、また、議事等決定後は、市のホームページのトップページに掲載し事前周知を図った。今後もホームページ等を利用し、随時情報発信に努めたい。 ・傍聴者に配慮して会議を公民館等で7回開催した。 (有明総合文化会館1回、杉谷公民館5回、白山公民館1回) ・平成27年度の会議における傍聴者はなかった。
(3) 会議録の公開、広報・広聴活動の状況	① 会議録の作成・保管	・会議毎に、報告事項、議案及び審議内容を記した会議録を作成し、永年保存文書扱いとして管理している。
	② 会議録の公開	<ul style="list-style-type: none"> ・原則公開としており、情報公開請求にも対応できるよう会議録を整備していたが、平成27年度中の公開事例はなかった。 ・会議録及び議案書等について、市のホームページへ掲載し、公開した。
大項目	教育委員会と事務局との連携	
中項目	小項目	点検・評価
(1) 教育委員会と事務局との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・懸案事項等が発生した場合、随時教育委員へ連絡を行うとともに、定例会において経過報告・協議を行い、現状把握や解決に向けた方策等について共通理解が得られるように努めた。 ・定例会において、諸問題について委員、事務局双方から問題提起し、意見交換や協議を行うことで教育課題に係る共通認識を持ち、教育委員と事務局との連携を図った。
大項目	教育委員会と市長との連携	
中項目	小項目	点検・評価
(1) 教育委員会と市長との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、平成27年4月1日に施行されたことにより、すべての地方公共団体に総合教育会議が設置された。本市においても8月27日及び1月27日に2回の総合教育会議が開催され、地域における教育行政の指針となる教育大綱が策定された、また、市長と教育委員会の意見交換や協議を行った。 ・新年度当初予算重点事項要望書を市長へ1月に提出した。

1 教育委員会の活動状況

中項目	小項目	点検・評価
		・その他、必要な事項については、双方から随時、協議を行った。
大項目	学校等教育機関に対する支援及び連携	
中項目	小項目	点検・評価
(1) 学校への訪問		<ul style="list-style-type: none"> ・全小・中学校を対象に、春の学校経営訪問7校（半日）、研究発表及び中間指導として、秋に7校の学校訪問を実施した。 ・各学校の課題について校長から直接聴取し、その解決に向けた方策について適宜指導助言を行った。 全小・中学校を対象として、毎年実施し、教職員の資質向上に努め、学力向上を目指した本市学校教育の充実を図った。 ・その他、各学校の行事には積極的に出席するように努めた。
(2) その他施設への訪問、行事参加等		<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の入学式・卒業式、運動会・体育大会、小大会・中体連、北村西望賞教育美術展等へ参加した。 ・島原市民体育祭大運動会、島原市民親睦大会等の各種スポーツ大会にも積極的に参加し、また、JFAこころのプロジェクト「夢の教室」や有馬スポーツ賞表彰式に参加した。
大項目	教育委員の自己研鑽	
中項目	小項目	点検・評価
(1) 研修会への参加状況		<ul style="list-style-type: none"> ・長崎県市町村教育委員会連絡協議会主催の研修会（大村市）に参加し、また、11月6日に長崎県市町村新任教育委員研修会を11月7日に長崎県市町村教育委員会研究大会を島原市で開催し、分科会ごとのテーマに沿って各市町教育委員と意見交換を行った。
(2) 先進地への視察研修		<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年1月「学力向上」をテーマに沖縄県那覇市教育委員会と那覇市立仲井真小学校の先進地視察を行った。
(3) 自己研修		<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修大会等への参加をはじめ、教育関係刊行物などを購読し、情報の収集に努めた。

2 教育委員会が管理・執行する事務

大項目	学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること	
中項目	小項目	点検・評価
(1)「島原市教育方針」		・「第2期島原市教育振興基本計画」(平成29～33年度)の策定に向けた準備作業に努めた。
大項目	学校その他教育機関の設置及び廃止の決定並びに敷地の選定・変更に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
		・平成27年度は、本項目に該当する事例はなかった。
大項目	県費負担教職員の任免その他進退にかかる内申に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
(1)校長への意見聴取		・2回にわたる教職員実態調査(ヒアリング)を行うとともに、必要に応じて各校長への意見聴取を実施した。
大項目	県費負担教職員のサービスの監督に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
(1)校長会、教頭会、各種研修会における指導		・毎月の校長会、教頭会、各種研修会等において不祥事防止に関する指導助言を行った。
大項目	教育委員会の任命にかかる職員(県費負担教職員を除く)の任免その他進退に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
		・任免については、4月の定例教育委員会の中で報告を行った。
大項目	委員会規則の制定又は改廃を行うこと	
中項目	小項目	点検・評価
		<p>・法の改正及び施設管理運営上の変更等に伴う委員会規則等の制定・改廃については、教育委員会会議において審議した。</p> <p>○規則の制定・改正・廃止 12件</p> <p>(ア)島原市教育委員会公告式規則(改正)</p> <p>(イ)島原市教育委員会公印規則(改正)</p> <p>(ウ)島原市教育委員会会議規則(改正)</p> <p>(エ)島原市教育委員会傍聴人規則(改正)</p> <p>(オ)島原市教育委員会事務局処務規則(改正)</p> <p>(カ)島原市教育委員会の権限事務の一部を教育長に委任し又は臨時に代理させる規則(改正)</p> <p>(キ)島原市教育委員会事務局職員職名規則(改正)</p> <p>(ク)島原市教育委員会教育長職務代理者規則を廃止する</p>

2 教育委員会が管理・執行する事務

中項目	小項目	点検・評価
		<p>規則（廃止）</p> <p>(ク) 島原市いじめ問題調査会規則（制定）</p> <p>(コ) 島原市社会教育委員会議運営規則（制定）</p> <p>(カ) 島原市立公民館の設置及び管理等に関する条例施行規則（改正）</p> <p>(キ) 島原市立小・中学校管理規則（改正）</p> <p>○規程の改正 1件</p> <p>(ケ) 島原市三会地区学校林管理規程（改正）</p> <p>○要綱等の制定・改正 8件</p> <p>(ク) 島原市スポーツ振興補助金交付要綱（2件）（改正）</p> <p>(イ) 九州学生駅伝大会開催費補助金交付要綱（制定）</p> <p>(ウ) 島原市社会教育関係団体等補助金交付要綱（改正）</p> <p>(エ) 島原市文化振興補助金交付要綱（改正）</p> <p>(オ) 島原市学校教育振興補助金交付要綱（改正）</p> <p>(カ) 島原市自治公民館建設事業補助金交付要綱（制定）</p> <p>(キ) 島原市教育振興基本計画検討委員会設置要綱（改正）</p>
大項目	教育委員会の所管に属する委員等の任命又は委嘱に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
		<p>・各種審議会等の委員の適任者として推薦があった者について、定例教育委員会において審議を行い、任命又は委嘱した。</p> <p>(ア) 各種審議会等委員の委嘱及び任命 8件</p> <p>(イ) 部活動外部指導者の委嘱・解嘱 8件</p> <p>(ウ) 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱・解嘱 3件</p>
大項目	教育関係職員の研修の一般方針を定めること	
中項目	小項目	点検・評価
		<p>・資質・指導力の向上を図るため以下の4つの研修を行った。</p> <p>(ア) 島原市学力調査結果分析研修会</p> <p>(イ) 中学校学力向上研修会</p> <p>(ウ) 教育講演会 全教職員対象</p> <p>(エ) 社会教育主事講習 1人受講</p>
大項目	教科用図書の採択に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
		<p>・島原・雲仙・南島原地区採択協議会を経て、平成28年度使用中学校教科用図書採択を行った。</p>

2 教育委員会が管理・執行する事務

大項目	学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること	
中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度中の区域の設定・変更は行わなかった。 個別の要望には、校区外通学で対応した。
大項目	教育予算その他議会の議決を経るべき議案の作成について意見を申し出ること	
中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度当初予算要求における重点要望事項について協議を行い、市長へ次の4項目の要望書を提出した。 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 学校教育の充実 (イ) 社会教育の推進 (ウ) スポーツの推進 (エ) 教育環境の充実 教育に関する事務に関し、議会の議決を経るべき次の議案について、必要な案件の審議を行った。 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 条例改正1件 (イ) 和解1件 (ウ) 訴えの提起1件
大項目	学校その他教育機関の工事の計画を策定すること	
中項目	小項目	点検・評価
(1) 学校施設の耐震化計画		<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校の校舎・体育館などの建物躯体の耐震化については、平成24年度で耐震補強工事が完了した。また、体育館非構造部材の耐震化は、平成25～27年度の3か年計画で取り組み、平成27年度に、7校分（第一小、第二小、第三小、第四小、高野小、第一中、有明中）の工事を実施し、全ての体育館の工事が完了した。
大項目	教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うこと	
中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度の事業について点検及び評価を実施し、9月市議会において報告するとともに、ホームページで公開した。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

大項目 学校教育に関すること														
中項目	小項目	点検・評価												
(1) 心の教育の充実	①道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「長崎っ子の心を見つめる教育週間」に、「^{いのち}生命」をテーマとした道徳の授業を全学校で実施・公開した。 												
	②人権学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・人権週間の取組については、各学校標語づくりや人権宣言、ゲストティーチャーによる講話等、工夫を凝らした取組を行った。 												
	③平和学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・全小・中学校で8月9日の登校日に平和集会を開催した。 (ア)校長講話 (イ)平和学習の発表 (ウ)平和宣言 (エ)平和に関する歌 ・8月9日以外の平和学習 (ア)小学校4年生の社会科学見学 (イ)各教科における平和教材を使った学習 												
	④読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・全小・中学校に配置した「学校司書」を活用しながら、貸出冊数の増加を図った。 <p style="text-align: center;">図書貸出冊数（1人平均）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>130.1</td> <td>160.7</td> <td>160.7</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>13.1</td> <td>16.4</td> <td>20.1</td> </tr> </tbody> </table>		H25	H26	H27	小学校	130.1	160.7	160.7	中学校	13.1	16.4	20.1
		H25	H26	H27										
	小学校	130.1	160.7	160.7										
中学校	13.1	16.4	20.1											
⑤文化・芸術教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・北村西望賞教育美術展（出展数249点）、夏休み親子粘土教室（児童83人、保護者27人、引率42人 計152人）等を実施し、文化・芸術教育の充実を図った。 													
⑥生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導担当者会を開催し、いじめ、不登校、携帯・スマホ、問題行動及び佐世保事件等への対応や解決のあり方を協議し未然防止に努めた。 ・児童生徒の悩みや相談に対応するため、全中学校に「心の教室相談員」、全中学校及び小学校2校に「スクールカウンセラー（県教委事業）」を配置して対応した。 ・適応指導教室「ひまわり教室」において、不登校児童に対する支援を行った。 ・いじめ防止対策として、児童生徒・保護者用アンケートを、年に3回（5月・9月・1月）に実施した。 ※児童生徒用は各学校が、保護者用アンケートは市教育委員会が作成した。 													

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> 福祉と連携するために、スクール・ソーシャル・ワーカーを配置した。 要保護児童及びその保護者に関する情報、その他要保護児童の適切な保護を図るために必要な情報の交換と支援の内容に関する協議を行った。
(2) 確かな学力を身に付ける教育活動の充実	①授業改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学習に取り組み、問題を解決する力を育成するために、各小・中学校において、体験的な学習や基礎的・基本的な知識・技能を活用した問題解決的な学習を取り入れた授業を実践した。 全小・中学校へ学校訪問を行い、指導助言をすることで授業改善の推進に努めた。 全国学力学習状況調査の結果を公表した。 市学力調査を実施した。(小2～小4・中1：国語・算数、数学) 問題データベースシステムの導入 (小：算数・国語) (中：数学・国語)
	②きめ細かな指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 各小・中学校において、学習内容、児童生徒の興味・関心、達成度等に応じた少人数指導やT T (ティームティーチング)を行い、きめ細かな指導の充実に努めた。 授業中、個別に支援が必要な児童生徒に対し、学習支援員を活用した指導の充実に図った。
	③学びの習慣化の確立	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上には学習規律の定着が欠かせないことから、学校ごとに設定している共通のきまりをもとに学習規律の確立に努めるよう、指導を行った。
(3) 地域との連携・協力による学校づくりの推進	①地域の教育力を生かした体験学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験学習 (小・中学校) 職場見学や職場体験学習を行い、感謝の気持ちをはぐくみ、キャリア教育の充実に図った。 福祉体験学習 (中学校) 高齢者・障害者施設等を訪問し、社会貢献しようとする意欲を養った。 野外宿泊体験学習 (小・中学校) 県立千々石少年自然の家や国立諫早青少年自然の家で、ジオパーク学習も取り入れ、宿泊体験学習を実施した。 島原市退職校長会作成の「教育支援人材バンクー一覧表」を活用

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
		し、地域人材を生かした教育活動を行った。
	②信頼される学校づくりの推進	・各学校は自己評価や学校関係者評価等によって、学校運営の改善を図っている。また、地域の人たちからなる学校支援会議を活用し、子育て支援に取り組んだ。
(4) 資質・指導力の向上	①教職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・定例管理職研修会、教務主任研修会、研究主任研修会、生徒指導担当者研修会等で、専門的な研修を行い、教職員の資質・指導力の向上を図った。 ・体罰防止等、不祥事防止のための研修を行った。 ・学力先進地視察を行った。(秋田県東成瀬村)
	②校内研修体制の充実	・小・中学校14校の半数を毎年順次指定し、最終年度には研究の成果を発表している。各学校はそれぞれの学校課題を解決するために、研究テーマを設け教師の指導力や授業力の向上を図った。
	③校種間連携の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携を推進し、小1プロブレムの解消に努めた。 ・中学校区内の小学校と中学校が、相互に授業を公開し、中学校の音楽・美術などの教諭が小学校に出向いてアドバイスをを行った。
(5) 国際化への対応	①国際交流活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生12人を選考し、香港を4泊5日で訪問した。 ・現地の中学生と英語で交流を行ったり、現地日本企業、歴史・文化施設を見学した。 ・3回の事前研修会をとおして、個々の生徒の目的意識を高めて参加させたことが訪問交流研修の充実につながった。 ・帰国後の報告会を行った。
	②ALT・支援員の活用	・ALT(外国語指導助手)を4人配置している。中学校には学校の規模に応じて週に2～3回、小学校には週に1回程度計画的に派遣し、授業で活用した。
(6) 食に関する指導の充実	①食に対する理解と感謝の心の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・各小・中学校において「食に関する指導の全体計画」に基づき、朝食の大切さや食事のマナーについて指導を行った。 ・野菜等を栽培・収穫・調理し、試食するという一連の体験活動をとおして、「食事」にはたくさんの人の手がかかっていることを理解させ、それに対する感謝の念をもたせることがで

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
		きた。
	②家庭・地域との連携による食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 各小・中学校で「給食だより」を毎月発行し、学校給食の状況や食に関する情報を提供し、家庭の食に関する意識高揚に努めた。 「学校給食週間」において、「具雑煮」「だご汁」等を献立に取り入れ、児童・生徒の郷土に対する理解を深めることができた。
(7) 特別支援教育の推進	①個に応じた指導・支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、保育園と小学校が互いに訪問し、学習や生活の様子を観察したり、話し合ったりすることで支援が必要な子どもの情報の共有化を図った。 中学校入学時における連絡会等とおし、個別に支援が必要な児童の情報を確実に引き継いだ。 就学相談においては、市保健センターとの連携を深め5歳児健診等の情報から適切な就学につなげた。 各小・中学校において、個別の教育支援計画を作成するよう指導した。
	②指導体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会を開催するよう指導し、個別に支援が必要な児童生徒に対する共通理解を図った。 特別支援教育コーディネーター研修会を実施し、コーディネーターの資質向上を図った。 特別支援教育支援員を各小・中学校へ配置し、個別に支援が必要な児童生徒の指導にあてた。
	③関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> 就学指導においては、市保健センターの5歳児健診へ各小学校の特別支援担当職員を参加させ、就学前の子ども実態把握に努めた。 特別支援学校へ授業参観や発達検査を依頼し、児童生徒への適切な指導方法への助言を受けた。 県教育センターの巡回教育相談を活用し、児童生徒の指導の充実を図った。
(8) 健やかな体の育成	①学校体育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 市内全児童生徒の体力について、市教育委員会が分析し、その結果を受けて、全小・中学校が「体力向上アクションプラン」を作成し、実施した。 子どもの体力向上研修会（体育実技講習会）を開催し、指導

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
		<p>力・授業力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校体育連盟の会議や小学校体育連盟の会議の機会を生かして、学校体育に関する指導を実施した。
	②部活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校体育連盟の会議の機会をとおして、部活動のあり方や指導力向上に対する指導を実施した。 ・外部指導者の委嘱は、各校長の推薦を受けて教育委員会が行い、校長をとおして、体罰防止等の指導を行った。平成27年度外部指導者登録者数64人
	③健康教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・小児生活習慣病予防検診を実施し、小学校4年生を対象として、市医師会と連携し、専門医による保健指導を行った。 ・養護教諭部会・保健主事部会を定期的開催し、保健・安全に関する研修会を行った。 ・薬物の害や怖さ、勧められたときに断る勇気の大切さを理解させるため、各学校で薬物乱用防止教室を実施した。
(9) 防災教育の推進	①防災計画の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地震や津波、火事等の災害に備えて避難訓練を実施し、自分の命を守るために、避難方法や経路の確認、確実な情報を得ること、落ち着いた行動、規律を守る行動をとること等の必要性を学習した。 ・東日本大震災の教訓を生かし、防災教育の見直しを行った。 ・島原市安全管理マニュアルを作成し、各学校に配付した。
	②防災学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校では、理科や社会科、総合的な学習の時間等で災害の特性や防災体制、災害を防ぐための工夫、災害発生時の適切な行動等を学習した。 ・各中学校では、保健体育、学習活動等で災害時の初期対応、安全な行動の仕方、応急手当等、自分の安全と他の人々の安全にも配慮するなど災害に対して適切な行動をとることを学習した。
	③「いのりの日」の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・平成3年の普賢岳災害から学んだ「いのち・きずな・感謝の心」の精神を生かした様々な取組を、6月3日を「いのりの日」として、各学校において実施した。 ・各学校で行われた取組内容は以下のとおりである。 学習発表、ビデオ視聴、追悼の会、追悼演奏 語り部による講話、道徳授業公開、校長講話

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
		全校集会、ジオパーク事務局員講師による講話
	④ジオパークに関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導流堤、砂防ダム、定点の観察や社会科副読本「私たちの島原市」での学習、雲仙岳災害記念館の講師による現地見学説明など、各学年の発達段階に応じたジオパーク学習を全小・中学校で行った。また、この学習を、社会科、理科、総合的な学習の時間及び特別活動など各教科・領域の教育課程に位置づけるよう指導した。 ・ 中学生海外訪問交流事業（香港）の際、ジオパークに関する交流・学習を行った。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

大項目 社会教育に関すること										
中項目	小項目	点検・評価								
(1)「島原市ココロねっこ運動」の推進	①青少年の体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・週末余暇活動は6地区で行われ、地区ごとに年に数回の体験活動などが行われた。 ・通学合宿を市内7地区で実施し、計120人の児童が参加した。各種団体のボランティアスタッフやもらい湯を提供した家庭との交流が図られた。 ・放課後子ども教室は、放課後の子どもの居場所づくり及び自学の習慣を身に付けさせることを目的に、次の4つを実施した。 <table style="margin-left: 20px; width: 100%;"> <tr> <td>(ア) 稽古館（古典の学習）</td> <td style="text-align: right;">334人</td> </tr> <tr> <td>(イ) 寺子屋・武家屋敷（論語の素読）</td> <td style="text-align: right;">174人</td> </tr> <tr> <td>(ウ) スクールキッズ（自主学習）</td> <td style="text-align: right;">256人</td> </tr> <tr> <td>(エ) 放課後子ども学習室（自主学習）</td> <td style="text-align: right;">17,690人</td> </tr> </table> 	(ア) 稽古館（古典の学習）	334人	(イ) 寺子屋・武家屋敷（論語の素読）	174人	(ウ) スクールキッズ（自主学習）	256人	(エ) 放課後子ども学習室（自主学習）	17,690人
	(ア) 稽古館（古典の学習）	334人								
	(イ) 寺子屋・武家屋敷（論語の素読）	174人								
(ウ) スクールキッズ（自主学習）	256人									
(エ) 放課後子ども学習室（自主学習）	17,690人									
②子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て広場は、11月に絵本作家の真珠まりこ氏の講演会を実施し、親子で270人の参加があった。（島原図書館開館30周年記念事業として実施） ・家庭教育学級は、地区ごとに年6回程度の講座が計画され、PTAや青少協などの各種団体が主体となり実施した。 ・健康教育講座は、地区ごとに計画され、延べ1,226人の参加があった。 ・思春期子育て講座は、中学校区ごとに計画され、延べ496人の参加があった。 ・社会教育委員の会と研究協議を重ね「しまばら家庭教育三・三・七拍子！」をとりまとめ、リーフレットを作成し配布した。 									
③学校と地域社会の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・杉谷地区、安中地区、高野小校区では、小学校と地域が合同で運動会を開催し連携を強めた。 ・通学合宿、週末余暇活動などにより、学校と地域の連携が図られた。 ・ひとづくり出前講座は27回の利用があった。 ・学校支援会議は、各小・中学校で開かれており、学校区内における意見交換が図られた。 									

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
(2) 地域の特性を生かした公民館活動の推進	①地域に密着した公民館運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館まつりは全7地区で実施され、公民館を利用しているサークルなどの日頃の成果を発表する場となっており、多くの来場者があった。 ・各地区公民館運営委員会及び公民館運営審議会はそれぞれ年2回行われ、公立公民館の運営や要望などを話し合う場となった。
	②各種学級・講座の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・女性学級は、学級生と公民館主事、社会教育指導員で講座内容を決めている。10学級、87講座で延べ1,840人の参加があった。 ・高齢者学級は、学級生と公民館主事、社会教育指導員で講座内容を決めている。全7地区、62講座で延べ2,209人の参加があった。 ・家庭教育学級は、各地区の青少協・PTA・学校・公民館の代表者で講座内容を決めている。全7地区、55講座で延べ10,078人の参加があった。 ・青年教室は、白山地区で行われ、5講座で延べ40人の参加があった。
	③公民館サークル活動の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・各サークルで、工夫・改善を行いながら充実した活動となっている。7地区公民館において、287のサークルが活動を行った。
(3) 社会教育関係団体の育成と活動の推進	①青少年健全育成協議会活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区の青少協は、地区ごとの特色を生かした伝承・伝統行事や週末の余暇活動等を実施した。 ・朝のあいさつ運動は、各地区の青少協が中心となり会員が通学路の要所(校門や交差点)に立ち、児童生徒の安全を見守るなど、積極的に行われた。 ・非行防止活動として、各地区において夜間パトロールやお祭り・夜市などでのパトロールを行った。
	②子ども会活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会育成連絡協議会の活動については、自主運営を働きかけ、ジュニアリーダー研修会など独自性のある活動が行われた。また、会の役員とジュニアリーダーが研修などにも積極的に参加した。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
	③各種団体の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人会活動は、有明地区、杉谷地区以外の5地区で行われた。会員数の減少が課題となっている。なお、有明地区及び杉谷地区については、地区婦人会が存在しないため、地区全体に広がる女性の会が結成されており、徐々に活動の輪が広がった。 ・白山青年団は活発に活動しており、市内唯一の青年団体として地域に貢献した。 ・島原市PTA連合会は、1月に会員を対象として研修会を行った。また、携帯電話やスマートフォンを持たせることは親の責任であるという自覚を促すため、島原市PTA連合会の統一ルールとして“しまばらスマホルール”を策定するとともに各学校PTAでは親子で真剣に話し合っ”家族のルール“をつくるように呼びかけが行われた。
(4) 図書館活動の推進		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館司書の専門的知識を生かし、利用者からのリクエストを参考としながら、新規図書等の購入、資料の収集を行った。 (㍿)島原図書館(平成27年度末) <ul style="list-style-type: none"> 蔵書数 117,994冊 視聴覚資料 4,621点 (イ)有明図書館(平成27年度末) <ul style="list-style-type: none"> 蔵書数 75,596冊 視聴覚資料 1,251点 年間貸出冊数 237,154冊 (島原・有明図書館合計) ・団体貸出や図書館遠隔地の学校への配本を実施し、子ども読書活動を推進した。 ・島原図書館30周年を記念して、図書館バッグを配付するとともに11月には記念事業として絵本作家の真珠まりこ講演会を実施し親子で270人の参加があった。
(5) 少年センター活動の推進	①補導活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・68人の少年補導委員を委嘱し、毎月の定期補導活動に加え、長期休業中や市の行事における特別補導等、各地区で積極的、計画的に取り組んだ。年間の補導活動は180回、延べ641人の参加があり、41件の補導があった。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
	②相談活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 相談業務においては、ポスターの掲示やチラシ等の配布を行い啓発を図った結果、22件（年間）の相談があった。
	③環境浄化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 市内3か所に設置した白ポストにより青少年の健全育成に有害な雑誌やDVD等を毎月回収しており、年間184点を回収した。 立ち入り調査を年2回実施し、有害図書のある書店及びコンビニ、カラオケボックス、携帯電話販売店などを調査・指導した。
	④地域啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1日の「少年の日」におけるあいさつ運動は、各地区の社会教育関係団体と連携しながら、積極的に活動を行った。 毎月第3日曜日の「家庭の日」について、その直前の金曜日に、車による広報活動を行った。 「少年センターだより」を年6回発行した。
	⑤関係機関等との連携	<ul style="list-style-type: none"> 年2回実施している補導委員会の中で、島原警察署員などによる講話を実施するなど資質の向上に努めた。
(6) 文化財の保護・公開・活用	①旧島原藩薬園跡の保存・公開・活用	<ul style="list-style-type: none"> 薬草と薬木の説明板を一新して写真付きで名称や効能などを紹介し、一年を通してどのようなものが植栽されているのか確認できるようにした。 来園者がゆとりをもって歩けるように園内の通路を拡幅するとともに、必要に応じ薬草や薬木の植え替え整備を図った。
	②松平文庫の保存・公開・活用	<ul style="list-style-type: none"> 古典籍の修復作業や来館する研究者、見学者及び郷土史に関する各種問い合わせに対応した。 資料保存を目的としたマイクロフィルムの撮影を行った。14, 116コマ（27年度実績） 「島原城下ひなめぐり」に合わせて「松平家ゆかりの御所人形展」を開催した。（2月10日～3月6日）

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
	③文化財の保護	<ul style="list-style-type: none"> ・開発行為対応のための埋蔵文化財発掘調査(4遺跡)を行った。 ・島原城の石垣調査報告書を作成した。 ・松平家墓所(本光寺境内)の平面測量を行った。 ・「日米親善人形(通称リトル・メリー)」と「甚三郎山」を市の文化財に指定した。 ・平成23年度から県史跡指定推薦中であった島原城跡が平成28年2月18日に県史跡に指定された。
(7) 文化活動の推進	①文化団体の育成と連携	<ul style="list-style-type: none"> ・島原市美術展覧会は、市、市教育委員会、有明総合文化会館、島原文化連盟及び有明文化協会が主催で、平成27年10月7日(水)～11日(日)の5日間開催した。出品数375点、入場者839人。 ・島原市民音楽祭は、島原市小中学校音楽教育研究会、島原市音楽連盟、島原市邦楽振興会との共催で開催した。 <ul style="list-style-type: none"> (ア)小中学生の部 平成27年11月14日(土) 2,672人(うち出演者805人) (イ)洋楽の部 平成27年11月15日(日) 835人(うち出演者246人) (ウ)邦楽の部 平成27年11月21日(土) 358人(うち出演者126人)
	②自主文化事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・公演事業については、以下の5本を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> (ア)和魂楽匠コンサート 平成27年6月14日(日)有明文化会館 入場者数367人/700席 (入場率52%) (イ) Duo Blanche (デュオ・ブランシュ) ピアノコンサート 平成27年12月5日(土)有明文化会館 入場者数165人/200席 (入場率82.5%) (ウ) 2015長崎新聞クリスマス子ども大会 平成27年12月13日(日) 島原文化会館 入場者数855人/1,202席 (入場率71%) (エ) BEGIN (ビギン) コンサート 平成28年1月10日(日)島原文化会館

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
		<p>入場者数1,202人/1,202席 (入場率100%)</p> <p>(オ)熱海殺人事件(演劇) 平成28年3月5・6日(土・日)有明文化会館 入場者数278人/400席 (入場率69.5%)</p> <p>・肥前島原子ども狂言は、5月20日から10月17日(薪能)までに12回開催し、39人の参加者があった。</p>

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

大項目		
スポーツ推進に関すること		
中項目	小項目	点検・評価
(1) 生涯スポーツの推進	①総合型スポーツクラブの普及・推進	・総合型スポーツクラブとして、「白山総合スポーツクラブ（通称：白山いきいきスポーツクラブ）」が、卓球やバドミントン等、週2回活動した。
	②スポーツ大会の推進	・市民総参加でスポーツにふれあう場として市民体育祭を開催し、大運動会に2,000人、各種競技大会に22競技2,000人の参加を得て、市民の健康及び体力づくりの推進を図った。 ・教育委員会主催のスポーツ大会を8大会、スポーツ教室を2教室開催した。合わせて約1,350人の市民が参加し、相互の親睦を深めるとともに、健康増進・体力づくりの一助になった。
	③スポーツ交流の推進	・ゴールデンウィーク中の高校剣道錬成大会や、夏休み期間中の市長杯少年サッカーフェスティバル、冬の島原学生駅伝など、交流人口の拡大による地域の活性化を目的として、関係団体等と密接な連携を図りながら、大規模な大会の開催に努めた。
(2) ジュニアスポーツの推進	①スポーツ少年団活動の推進	・スポーツ少年団登録50団に対して、運営費及びスポーツ安全保険加入費補助金を交付した。 ・スポーツ少年団の交流促進を目的に、スポーツ少年団駅伝大会を開催し、選手は25団から170人が参加した。 ・スポーツ少年団指導者の資質の向上を目的に、日本体育大学から講師を招き、指導者研修会を開催し、136人が参加した。
	②「夢の教室」の開催	・夢を持つことの大切さや仲間と協力することの大切さを学ぶよい機会となることを目的に、JFAこころのプロジェクト「夢の教室」を市内すべての小学校第5学年を対象に開催した。学級数11学級、児童数341人、夢先生5人
	③小中学生派遣事業	・ジュニアスポーツの充実を図るため、トップレベルの指導者や選手がいる日本体育大学と協定を結び、小・中学生25人を大学に派遣し、講義や実技指導

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
		を受けることにより、児童生徒の意識の高揚を図り、さらなるスポーツの振興や競技力の向上をめざす事業を行った。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

大項目 教育環境に関すること		
中項目	小項目	点検・評価
(1) 学校施設の整備・充実	① 学校施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の校舎・体育館などの建物躯体の耐震化については、平成24年度で耐震補強工事が完了した。また、体育館非構造部材の耐震化は、平成25～27年度の3か年計画で取り組み、平成27年度に、7校分（第一小、第二小、第三小、第四小、高野小、第一中、有明中）の工事を実施し、全ての体育館の工事が完了した。 ○実施状況 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 非構造部材落下防止対策工事 小学校（5校）、中学校（2校） ○耐震化率(平成28年4月1日現在) <ul style="list-style-type: none"> (ア) 島原市 100.0% (イ) 長崎県平均 96.8% (ウ) 全国平均 98.1% ・危険性・緊急性・必要性等を考慮し、計画的な施設整備を行った。 ○実施状況（主なもの） <ul style="list-style-type: none"> (ア) プール薬剤注入器・濾過機取替工事 三小 (イ) 屋上防水改修工事 五小・湯江小・一中・二中・三中・三会中 (ウ) 受変電設備改修工事 五小・湯江小 (エ) トイレ改修工事 三会小 (オ) プール改修工事 大三東小 (カ) 放送設備改修工事 一中 ・児童の健全な育成と地域密着の交流拠点として学校校庭の芝生化に取り組んだ。 ○実施学校 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 第四小学校 (イ) 三会小学校
	② 教育設備等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教材・教具等の充実に努めるとともに学校図書の新なる充実を図るため、学校図書管理システムを第四小学校及び三会小学校に導入した。
	③ 給食施設等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な給食の提供のため、給食施設等の改善を図った。 (ア) 給食用食器購入 二小・共同・五小

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
		(イ)食洗機の更新 有明学校給食センター (ウ)検収室空調設備増設 二小 (エ)雨漏り修繕 有明学校給食センター
(2) 社会教育施設の整備・充実	① 公民館の整備・充実	・危険性・緊急性・必要性等を考慮し、計画的な施設設備の整備を行った。 ○実施状況（主なもの） (ア)トイレ改修 森岳公民館 (イ)駐車場ライン改修 霊丘・白山公民館 (ウ)カーペット張替 安中公民館 (エ)太陽光発電設備 安中公民館 (オ)排水溝改修 有明公民館 (カ)エレベーター設置 霊丘公民館
	②図書館の整備・充実	・計画的な施設設備の整備を行った。 (ア)人数デジタルカウンター 島原図書館 (イ)トイレ改修 島原図書館 (ウ)木製展示架台 有明図書館
	③文化会館の整備・充実	・危険性・緊急性・必要性等を考慮し、計画的な施設設備の整備を行った。 ○実施状況（主なもの） (ア)高圧受電設備改修 島原文化会館 (イ)給湯設備設置 島原文化会館 (ウ)空調エアハンドルユニット修繕 有明文化会館
(3) スポーツ施設の整備・充実		・施設の安全性や利用者の利便性の向上を図るため、必要な改修・補修工事を実施した。 ○実施状況（主なもの） (ア)島原市営球場芝張替工事 (イ)島原復興アリーナ・サブアリーナ電動式移動観覧席部品交換業務及び電動式収納ステージ部品交換業務 (ウ)島原復興アリーナ中央監視装置取替修繕 (エ)島原市営陸上競技場ほか1箇所オーバーシーディング業務委託 (オ)平成町多目的広場芝管理業務

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価																						
(4) 修学支援の実施	①奨学金制度	<p>・向学心があるにもかかわらず、経済的な理由により修学が困難な学生に対して、奨学金の貸し付けを行った。</p> <p>平成27年度(平成28年3月31日現在)</p> <table> <tr> <td>貸与実績</td> <td>35人</td> <td>8,940千円</td> </tr> <tr> <td>償還実績</td> <td>124人</td> <td>11,587千円</td> </tr> <tr> <td>未納額</td> <td>76人</td> <td>12,003千円</td> </tr> </table>	貸与実績	35人	8,940千円	償還実績	124人	11,587千円	未納額	76人	12,003千円													
	貸与実績	35人	8,940千円																					
償還実績	124人	11,587千円																						
未納額	76人	12,003千円																						
②就学援助制度	<p>・経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費、各学校行事活動費、学校給食費等の援助を行った。</p> <p>○準要保護認定状況(平成27年度)</p> <table> <tr> <td>小学校</td> <td>310人</td> <td>(認定率13.25%)</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>208人</td> <td>(認定率16.15%)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>518人</td> <td>(認定率14.28%)</td> </tr> </table> <p>○就学援助費支給状況(平成27年度)</p> <table> <tr> <td>学用品費</td> <td>11,150千円</td> </tr> <tr> <td>社会科見学活動費</td> <td>119千円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費</td> <td>258千円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>5,064千円</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>1,437千円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費</td> <td>23,077千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>41,105千円</td> </tr> </table>	小学校	310人	(認定率13.25%)	中学校	208人	(認定率16.15%)	計	518人	(認定率14.28%)	学用品費	11,150千円	社会科見学活動費	119千円	校外活動費	258千円	修学旅行費	5,064千円	医療費	1,437千円	学校給食費	23,077千円	計	41,105千円
小学校	310人	(認定率13.25%)																						
中学校	208人	(認定率16.15%)																						
計	518人	(認定率14.28%)																						
学用品費	11,150千円																							
社会科見学活動費	119千円																							
校外活動費	258千円																							
修学旅行費	5,064千円																							
医療費	1,437千円																							
学校給食費	23,077千円																							
計	41,105千円																							